

【学びの履歴】各教科

特別支援学校高等部学習指導要領(H31) P233～238参照

高等部【職業】目標

職業に係る見方・考え方を働かせ、職業など卒業後の進路に関する実践的・体験的な学習活動を通して、よりよい生活の実現に向けて工夫する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
(1) 職業に関する事柄について理解を深めるとともに、将来の職業生活に係る技能を身に付けるようにする。	(2) 将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、表現する力を養う。	(3) よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への貢献に向けて、生活を改善しようとする実践的な態度を養う。
【1段階】		
知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
ア 職業に関する事柄について理解するとともに、将来の職業生活に係る技能を身に付けるようにする。	イ 将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価し、表現する力を養う。	ウ よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への参画に向けて、生活を工夫しようとする実践的な態度を養う。
【2段階】		
知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
ア 職業に関する事柄について理解を深めるとともに、将来の職業生活に係る技能を身に付けるようにする。	イ 将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、表現する力を養う。	ウ よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への貢献に向けて、生活を改善しようとする実践的な態度を養う。

■ 特別支援学校高等部学習指導要領(H31)に示される各教科の「目標」に照らして、その「内容」の習得状況を記入する。

○:学習した内容 ◎:学習した内容をおおむね習得している

- * まだ学習していない内容については、空欄にする。
- * 高等部2段階の内容を習得し、一部、高等学校や小・中学校学習指導要領の内容を発展的に取り扱っている場合は、別紙様式に記入する。
- * 高等部の段階の指導が難しい場合は、中学部、小学部の目標や内容を参考にする。しかしながら、教科の名称までを替えることはできないことに留意する。

【学びの履歴】各教科

特別支援学校高等部学習指導要領(H31) P233～238参照

高等部【職業】 1段階

目標

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
ア 職業に関する事柄について理解するとともに、将来の職業生活に係る技能を身に付けるようにする。	イ 将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価し、表現する力を養う。	ウ よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への参画に向けて、生活を工夫しようとする実践的な態度を養う。

内容

		1学年	2学年	3学年
A 職業生活	<p>ア 勤労の意義：勤労に対する意欲や関心を高め、他者と協働して取り組む作業や実習等に関わる学習活動</p> <p>(ア)勤労の意義を理解すること。</p> <p>(イ)意欲や見通しをもって取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現すること。</p> <p>(ウ)作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むこと。</p>			
	<p>イ 職業：職業に関わる事柄について、他者との協働により考えを深めたり、体験したりする学習活動</p> <p>(ア)職業に関わる知識や技能について、次のとおりとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ㉞ 職業生活に必要な実践的な知識及び技能を身に付けること。 ㉟ 職業生活を支える社会の仕組み等の利用方法を理解すること。 ㊱ 材料や育成する生物等の特性や扱い方及び生産や生育活動等に関わる技術について理解すること。 ㊲ 使用する道具や機械等の特性や扱い方を理解し、作業課題に応じて正しく扱うこと。 ㊳ 作業の確実性や持続性、巧緻性等を高め、状況に応じて作業すること。 <p>(イ)職業生活に必要な思考力、判断力、表現力等について、次のとおりとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ㊴ 作業や実習における役割を踏まえて、自分の成長や課題について考え、表現すること。 ㊵ 生産や生育活動等に関わる技術について考えること。 ㊶ 作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、改善を図ること。 ㊷ 職業生活に必要な健康管理や余暇の過ごし方について考えること。 			
B	<p>情報機器の活用：職業生活で使われるコンピュータ等の情報機器を扱うことに関わる学習活動</p> <p>ア 情報セキュリティ及び情報モラルについて知るとともに、表現、記録、計算、通信等に係るコンピュータ等の情報機器について、その特性や機能を知り、操作の仕方が分かり、扱えること。</p> <p>イ 情報セキュリティ及び情報モラルを踏まえ、コンピュータ等の情報機器を扱い、収集した情報をまとめ、考えたことを発表すること。</p>			
C	<p>産業現場等における実習</p> <p>ア 職業など卒業後の進路に必要なことについて理解すること。</p> <p>イ 産業現場等における実習での自己の成長について考えたことを表現すること。</p>			

【学びの履歴】各教科

特別支援学校高等部学習指導要領(H31) P233～238参照

高等部【職業】 2段階

目標

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
ア 職業に関する事柄について理解を深めるとともに、将来の職業生活に係る技能を身に付けるようにする。	イ 将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、表現する力を養う。	ウ よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への貢献に向けて、生活を改善しようとする実践的な態度を養う。

内容

	1学年	2学年	3学年
A 職業生活	<p>ア 勤労の意義：勤労に対する意欲や関心を高め、他者と協働して取り組む作業や実習等に関わる学習活動 (ア) 勤労の意義について理解を深めること。 (イ) 目標をもって取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現すること。 (ウ) 作業や実習等を通して貢献する喜びを体得し、計画性をもって主体的に取り組むこと。</p>		
	<p>イ 職業：職業に関わる事柄について、他者との協働により考えを深めたり、体験したりする学習活動 (ア) 職業に関わる知識や技能について、次のとおりとする。 ㊦ 職業生活に必要なとされる実践的な知識を深め技能を身に付けること。 ㊧ 職業生活を支える社会の仕組み等の利用方法について理解を深めること。 ㊨ 材料や育成する生物等の特性や扱い方及び生産や生育活動等に関わる技術について理解を深めること。 ㊩ 使用する道具や機械等の特性や扱い方の理解を深め、作業課題に応じて効果的に扱うこと。 ㊪ 作業の確実性や持続性、巧緻性などを高め、状況に応じて作業し、習熟すること。 (イ) 職業生活に必要な思考力、判断力、表現力等について、次のとおりとする。 ㊫ 作業や実習において、自ら適切な役割を見いだすとともに、自分の成長や課題について考え、表現すること。 ㊬ 生産や生育活動等に係る技術に込められた工夫について考えること。 ㊭ 作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、他者との協働により改善を図ること。 ㊮ 職業生活に必要な健康管理や余暇の過ごし方の工夫について考えること。</p>		
B 情報機器の活用：職業生活で使われるコンピュータ等の情報機器を扱うことに関わる学習活動	<p>ア 情報セキュリティ及び情報モラルについて理解するとともに、表現、記録、計算、通信等に係るコンピュータ等の情報機器について、その特性や機能を理解し、目的に応じて適切に操作すること。</p> <p>イ 情報セキュリティ及び情報モラルを踏まえ、コンピュータ等の情報機器を扱い、収集した情報をまとめ、考えたことについて適切に表現すること。</p>		
C 産業現場等における実習	<p>ア 職業など卒業後の進路に必要となることについて理解を深めること。</p> <p>イ 産業現場等における実習で課題の解決について考えたことを表現すること。</p>		